

●柳沢公民館 柳沢1-15-1 TEL 464-8211 kouminkan@city.nishitokyo.lg.jp
 ●田無公民館 南町5-6-11 TEL 461-1170 tana-kou@city.nishitokyo.lg.jp
 ●芝久保公民館 芝久保町5-4-48 TEL 461-9825 shiba-kou@city.nishitokyo.lg.jp

●谷戸公民館 谷戸町1-17-2 TEL 421-3855 yato-kou@city.nishitokyo.lg.jp
 ●ひばりが丘公民館 ひばりが丘2-3-4 TEL 424-3011 hibari-kou@city.nishitokyo.lg.jp
 ●保谷駅前公民館 東町3-14-30 TEL 421-1125 ekimae-kou@city.nishitokyo.lg.jp



一緒に活動しませんか

西東京市にはまだまだ掘り起こしたい女性史の鉱脈がたくさんあります。現在、新たに西東京市女性史研究会を立上げ第2号発行を目指して聞き書きや研究調査などコツコツ、楽しく進めています。会員募集中です。

連絡先 生活企画ジェフリー
渡辺 ☎467・2089

写真左から

【齋藤三枝子さん】
田無公民館の保育室を利用して学んだ経験がある。公民館が人生の礎になったと語る。
【木下伸子さん】
子どものころからこの町に暮らしている。地方公務員在職中から地域活動に参加。
【渡辺美恵さん】
男女平等に関わるさまざまな事業に取り組む「NPO法人生活企画ジェフリー」代表

編さんへの心意気と充実感

昨年暮れ『西東京市の女性の聞き書き集2010』が刊行されました(市内図書館に収蔵)。この冊子には、戦中戦後の激動期や高度経済成長の時代を旧田無・旧保谷地区で生きた女性22人の体験談が、語り口調で生き生きと記されています。時代を超えて学ぶべきことは何かを、編さんメンバー(12人)の3人にお聞きしました。

合併10年目の今、この町の女性たちの暮らしや活動の記録を残さねば…そんな一途な思いから西東京市NPO等企画提案事業に応募・採用され、編さん作業は始まりました。一人、2時間にも及ぶ話をまとめることはたやすいことではありません。テープ起こしのごく取り上げたら語り手のメッセージが伝わるのか、どうすればその人らしさが感じられる文章になるのかなど、会議では侃々諤々話し合い、語り手にも納得いただけるまで何度も伺ったそうです。

間にも及ぶ話をまとめることはたやすいことではありません。テープ起こしのごく取り上げたら語り手のメッセージが伝わるのか、どうすればその人らしさが感じられる文章になるのかなど、会議では侃々諤々話し合い、語り手にも納得いただけるまで何度も伺ったそうです。

この町をうなぎ、変えた女性たち

—原点は公民館の学び

「決して楽な作業ではありませんでしたが、聞き書き集はたくさんの方と出会い、多くのネットワークに支えられ誕生したんです。この町の人々はなんて素敵なんだろう。感謝することばかりです」と目を輝かせて語る渡辺さんの顔には、行政と協働しながら仲間と協力して作り上げた充実感がいじみ出ていました。

誰もが語る平和への思い

冊子に登場する女性たちの人生には共通するところがありました。それは戦争体験であり、なにより平和を強く望まれていることでした。焼夷弾から逃げまどい、家を焼かれ、身近な人を亡くすなどの過酷な体験をした女性たちにとって、平和な世界の実現は切なる願いなのです。

言葉の奥の思いを感じてほしい

齋藤さんは「男性優位社会で女性の地位が低かった当時、辛かったこと悔しかったことは多々あったことでしょう。何度もお会いするうちに語り手との信頼関係は築かれていったのですが、当時のそんな思い



○編集：西東京市の女性史を編さんする会
○発行：特定非営利活動法人生活企画ジェフリー
○この聞き書き集は西東京市NPO等企画提案事業として市の補助金をもとに刊行

町を変えた 女たちの学びと連携

聞き書き集には、お風呂屋さんや料理屋の女将さん、田無町の女性議員、障がい者が自立し働ける場を作るために奔走した人等、様々な女性が登場します。そしてその中には、公民館を拠点に活動した女性たちの姿も。

「よき妻よき母であることを求められ、家の中に閉じ込められていた女性たちが、婦人会の役員に選ばれたとか、公民館の講座で『学ぶ』というような大義名分を得て、家庭から一歩外に出られたことが、社会参加のきっかけとして、まず何よりよかったですよ」と、木下さんは語ります。戦後の公民館は、女性たちが自由に集い、語り合い、趣味を楽しみお場であり、さらに女性たちが共に学びあえる重要な場所だったのです。

つながる市民

—公民館の役割

聞き書き集に登場する女性たちの時代に比べれば、今は行政サービスも充実し、市民の暮らしは便利になったといえますが、その反面、人と人とのつながりが希薄となり、地域のコミュニティが育ちにくいという新たな課題に直面しています。かつて盛んだった自治会は、会を引継ぎつつも自治会がなくなり解散してしまったりという声も聞かれます。地域のつながりに懸念を感じつつある今、この町に大災害が起きたらどうなるのか、と不安を抱く人も少なくないでしょう。

夏期の電力不足に伴う節電にご協力ください。



市ホームページにおける「公民館情報」の検索について

公民館情報がトップページの「カテゴリー」欄「公民館情報」の「公民館情報」の検索リンクから検索できるようにいたしました。ご利用ください。

公民館に集って学習した女性たちが、自主グループを結成して互いにつながりながら、やがて地域活動の核となって、まちづくりに貢献していったように、今また新たに「地域のつながり」を形成させる時期にきているのではないのでしょうか。

NPO法人生活企画ジェフリー代表としても活躍する渡辺さんは「西東京市は市民の自治力豊かな誇れる町です。地域で活動することは楽しいですよ。地域にできたネットワークは自分の財産になり、力になります」と、地域活動に踏み出してみようことを提案しています。

3人のお話から、公民館の地域に果たす役割に改めて気づかされるとともに、自分たちの暮らしを良くしていきたいと願う市民の活動を、全力でサポートしていきたいと感じました。